

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立田上中学校

調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

本校の強み・弱み

【国語科】**強み** ④一「短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する設問」における正答率は68.3%(全国比+13.4)であり、[知識及び技能]の「言葉の特徴や使い方に関する事項」において成果が見られました。**弱み** ②四「本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する設問」における正答率は33.3%(全国比-9.3)であり、[思考力・判断力・表現力等]の「読むこと」の領域において課題が見られました。

【数学科】**強み** ⑦一「与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる設問」における正答率は82.5%(全国比+8.2)であり成果が見られました。**弱み** ⑦二「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する設問」における正答率は17.5%(全国比-8.4)であり課題が見られました。どちらも「データの活用」の領域ですが、⑦二は、「適切な根拠を基にして判断の理由を記述すること」が問われ、記述し表現することに課題が見られました。

【質問紙】

強み 全国と比べて、肯定的な回答の割合が高く、成果が見られる質問

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」
- 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」
- 「学校の授業時間以外に、勉強をしますか」

弱み 全国と比べて、肯定的な回答の割合が低く、課題が見られる質問

- 「自分には、よいところがあると思いますか」
- 「将来の夢や目標を持っていますか」
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」
- 学習については、主体的に取り組んでいます。しかし学習が、「自分のよさ」や「自分の将来」「自分の地域や社会」に結び付いていない側面もあり、課題がみられました。

指導の充実に向けて

授業の学びを生かして、自分の考えを表現する力を育成

- ・授業で学んだことや友達の意見がなく、自分の知識や経験だけの考えや表現だけは不十分である。
 - ・授業で学んだことや他者の意見だけで、自分の知識や体験と結び付けていない考えや表現は不十分である。
- 上記の2点をどの教科でも踏まえ、教科指導の充実に向けて、共通理解・共通実践を図る。

今後、学校が取り組んでいくこと

◇深い学びにつながる授業づくり

- ・話し合い活動 [グループ交流等による主体的に学習する態度の育成・表現する力の育成]
- ・校内研究 [ICT等の視覚的なわかりやすさによる授業改善・振り返り等による学びの手応えを次に活かす授業実践]
- ・カリキュラムマネジメント [次の学びに向かう態度・調整力を捉える学習評価の工夫による社会で生きて働く力の育成]

◇思いやりの心を育む集団づくり

- ・学び合い学習 [多様な価値観や感じ方の共有による多様性を尊重できる仲間づくり]
- ・学級活動・生徒会活動 [自尊感情や思いやりの心を育む場としての集団づくりによる主体的・実践的な態度の育成]

◇地域を担う人材を育成できる学校づくり

- ・ボランティア活動 [学校夢づくりプロジェクトなど生徒・保護者・地域とで行うボランティア活動の推進による自主的・自発的な活動による自信の獲得と自尊感情の醸成]